

10. 中津市水道ビジョン用語集

～ あ 行 ～

- **アセットマネジメント**

資産管理。

持続可能な水道を実現していくためには、水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営することが必要不可欠であり、これらを組織的に実践する活動がアセットマネジメント（資産管理）である。

- **1日最大給水量**

1年間のうち、給水量が最も多い日の水量。

- **1日平均給水量**

1年間の総給水量を、年間日数で割った水量（1日当たりの平均水量となる）。

～ か 行 ～

- **簡易水道事業**

水道事業のうち、計画給水人口が101人以上5,000人以下である水道事業のこと。

- **官民連携（PPP）**

行政と民間の企業等が連携して公共サービスの提供を行う枠組みのことをいい、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）と呼ばれている。

- **企業債**

管路や施設の建設・改良事業などに要する資金に充てるため、国などから長期で借り入れるお金。

- **給水管**

市が管理する配水管より分岐して、家庭やアパート等に引き込む水道管のこと。給水メーター以降は、個人の所有物として扱われる。

- **給水区域**

事業計画の目標年次までに、水道事業者が一般の需要に応じて給水を行うこととした区域。

- **給水原価**

年間の水道水を供給するために要した費用を料金徴収の対象となった水量（有収水量）で除したもので、水道水を1 m³つくるのに必要となる経費。

以下の式により算定する。

$$\text{給水原価（円／m}^3\text{）} = \text{経常費用} \div \text{有収水量}$$

- **給水収益**

水道料金として収入となる収益。水道事業会計における営業収益の一つで、水道事業収益のうち、大半がこの収益で占めている。

- **給水人口**

給水区域内に居住し、水道による給水を受けている人口。

- **給水量**

給水区域内の水道利用者に対して給水した水量。

- **供給単価**

水道利用者から徴収する水道料金の総額（給水収益）を、料金徴収の対象となった水量（有収水量）で除したもので、有収水量1 m³当たりにおける収益の平均単価。

以下の式により算定する。

$$\text{供給単価（円／m}^3\text{）} = \text{給水収益} \div \text{有収水量}$$

- **経営指標**

水道事業に関する経営の健全性、経営の効率性、施設の老朽化の状況の観点から整理された指標値。

- **減価償却（減価償却費）**

浄水場の整備や管路の更新など、資産の取得に要した費用を、その資産の耐用年数に応じて、毎年一定の額により費用配分することをいい、また、その毎年の費用のことをいう。

- **原水**

水源から取水し、浄水処理する前の水のこと。

- **更新需要**

老朽化した施設や設備などを更新する際に必要となる費用。

～ さ 行 ～

- **残留塩素**

水道水に消毒のため注入した塩素が、消失せずに残留しているもの。通常時、水道水は蛇口において0.1mg/L以上を保持するよう法令により定められている。

- **収益的収支**

一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する、すべての収益と費用の収支のこと。

収益的収入は、料金収入が大半を占めており、収益的支出には、人件費、維持管理費（動力費、薬品費、修繕費等）、企業債の支払利息などが計上される。発生主義に基づいて計上されるため、減価償却費などのように現金支出を伴わない費用もある。

- **浄水処理**

原水を水質基準に適合した安全な水道水に処理すること。

- **上水道事業**

水道事業のうち計画給水人口が5,001人以上の水道事業。

- **資本的収支**

企業の資産を取得するために要する費用（支出）とその財源（収入）の収支のこと。

資本的収入には、国庫補助金、企業債等が計上され、資本的支出には、建設改良費、企業債償還金などが計上される。

- **純利益**

収益的収入と収益的支出の差分をいい、当年度における利益または損失として計上される。

- **水質基準**

水道法第4条で定められている水道に必要な水質の基準。

水道水の備えるべき要件を科学的に保障するために、①人の健康に対して影響を及ぼさない（安全性）、②臭いや色により生活する上で障害がない（快適性）、といった2つの観点から設定されている。

- **水道管路管理システム（マッピングシステム）**

水道管路に関する情報を、道路地図情報及び下水道など他の道路占用施設情報と整合を図り、パソコン上からデータ管理できるシステム。このシステムにより、道路上の埋設物の位置の確認や、管路の布設替え工事が行われた場所のデータ更新など、効率的なデータ管理が可能となる。

- **送水管**

送水施設の一つで、浄水場から配水池まで浄水を送る管路のこと。

～ た 行 ～

- **耐震化管路**

地震時に、管の破損や継手部の離脱に対して強固な性能を有している管のことをいい、本市においては、N S 型ダクタイル鋳鉄管やH P P E (配水用ポリエチレン)管を耐震化管路として使用している。

- **耐震性**

建物や構造物など、地震が発生しても大きな損傷を生じることなく耐えられる性質のこと。

- **ダウンサイジング**

現在確保している給水能力と実際の使用水量及び将来の水需要量に乖離がある場合、適切な水圧、水量で給水できるように管路や施設を適切な規模に縮小すること。

- **地方公営企業**

地方公共団体が住民の福祉を推進するために経営する企業で、地方公営企業法では、水道事業（簡易水道事業を除く。）、工業用水道事業、軌道事業、自動車運送事業、鉄道事業、電気事業及びガス事業の7事業をいう。

- **長寿命化**

既存の水道施設、設備の機能を保持するため補修・補強等を実施し、水道施設、設備の使用期間を延長させること。

- **導水管**

取水施設から浄水場まで原水を導く管路のこと。

- **独立採算制**

水道使用水量に応じて支払っていただく料金収入のみで、必要な経費をまかなう仕組みのこと。

～ は 行 ～

- **バイオアッセイ**

魚の動きを監視することで、万が一、有毒物質が混入した際に、生物に対する影響や反応により検出する方法

- **配水管**

配水施設の一つで、配水池から各家庭へ送り届けるための管。

- **配水池**

配水施設の一つで、浄水場から浄水処理された水を受け、配水区内の水需要量に応じた配水を行うための浄水貯留池のこと。配水量の時間変動を調整する機能のほか、地震時等の非常時にも一定の時間、水量、水圧を確保できる機能を持つことが必要とされている。

- **HACCP（ハザップ）**

Hazard Analysis and Critical Control Point の略語であり、WHO（世界保健機関）で提唱されている食品製造分野で確立されている考え方。

- **表流水**

河川、湖沼、沼、貯水池等、陸地表面に存在する水。

- **負荷率**

水道事業の施設効率を判断する指標の一つで、1日平均給水量÷1日最大給水量により算定する。この数値が大きいほど効率的であるとされている。水道事業のような季節的な需要変動がある事業においては、給水需要のピーク時に合わせて施設を建設することとなるため、需要変動が大きいほど施設の効率は悪くなり、負荷率が小さい事業となる。

- **法定耐用年数**

地方公営企業法で定められた、新規に取得した固定資産を、次に更新するまでの時間。減価償却は、法定耐用年数を対象に実施する。

- **補填財源**

企業会計において、資本的収入が資本的支出に不足する場合にその不足額を補てんするため、当該企業内部に留保された資金（現金支出を伴わない減価償却費などの損益勘定留保資金、収益的収支の純利益など）のこと。

～ や 行 ～

- **有収水量**

料金徴収の対象となった水量。

～ ら 行 ～

- ロードマップ

水道ビジョン推進のために実施する事業の実施工程を示したもの。



中津市上下水道部

〒871-0024

大分県中津市中央町 2-3-1

TEL 0979-24-1234

FAX 0979-22-0924

E-mail suido-soumu@city.nakatsu.lg.jp